

2021年11月24日
東北電力フロンティア株式会社
損害保険ジャパン株式会社
Mysurance 株式会社

「東北電力フロンティア 暮らしのシンプル保険(賃貸タイプ)」の提供開始について
～ 暮らしに必要な“住まい”等に係わるサブスクリプション型サービスの共創をスタート ～

東北電力フロンティア株式会社(本店:宮城県仙台市、取締役社長:岡信 慎一、以下 東北電力フロンティア)は、損害保険ジャパン株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:西澤 敬二、以下 損保ジャパン)、損保ジャパンの子会社で少額短期保険業を営む Mysurance 株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:川上 史人、以下 Mysurance)と連携し、11月24日より、「東北電力フロンティア 暮らしのシンプル保険(賃貸タイプ)」の提供を開始いたします。

1. 「東北電力フロンティア 暮らしのシンプル保険(賃貸タイプ)」の概要

「東北電力フロンティア 暮らしのシンプル保険(賃貸タイプ)」は、賃貸住宅にお住まいの方向けのオンラインで申込みが完結するサブスクリプション型保険商品であり、「スリムプラン」と「ワイドプラン」の2種類のプランを提供いたします。

「スリムプラン」は、家電や家具の破損・汚損の補償に対応した、月額210円からご契約いただけるプランです。

「ワイドプラン」は、家電や家具の補償に加えて、賃貸住宅にお住まいの方がドアや壁などを破損してしまい大家さんへ賠償する際の補償や、家族の暮らしにおけるさまざまな「もしも」への幅広い補償に対応した、月額850円からご契約いただけるプランです。

- | | |
|-----------|---|
| (1) 商品名 | 「東北電力フロンティア 暮らしのシンプル保険 (賃貸タイプ)」 |
| (2) 商品の特徴 | <ul style="list-style-type: none">① ご自宅の家電・家具に対して、火災や水濡れはもちろん、破損・汚損などの「もしも」に対応!さらに「ワイドプラン」では、自転車事故やレンタル品の破損等による賠償責任を対象とした保険金額“無制限”の個人賠償責任補償、賃貸住宅にお住まいの方がドアや壁などを破損してしまい大家さんへ賠償する際の補償など、家族の毎日の暮らしの「もしも」を幅広く補償します。② 月額210円からのお手頃な保険料!一括払ではないため費用負担が平準化し、家計管理がしやすくなります。③ スマホ・PCから最短3分でカンタン申込み!用意するのはクレジットカードだけです。 |

- (3) サービス提供者 取扱代理店 東北電力フロンティア
引受少額短期保険業者 Mysurance
引受保険会社 損保ジャパン※
※「ワイドプラン」のみ

- (4) お申込み方法 **東北電力フロンティアのホームページからお申込みいただけます。**
なお、電気のご契約先に関わらず、どなたでもお申込みいただけます。
商品の詳細は、東北電力フロンティアのホームページでご確認ください。
(URL : <https://www.tohoku-frontier.co.jp/service/insurance/>)



東北電力フロンティア
くらしのシンプル保険

賃貸タイプ
賃貸住宅にお住まいの
子育て家族に特にオススメ！

東北電力や東北電力フロンティアとの電気のご契約有無にかかわらず、お申込みいただけます！



スリムプラン
お手頃な保険料で家電・家具の「もしも」に安心を
月々 210円～

ワイドプラン
賃貸住宅に必要な大家さんに対する賠償事故の補償に加えて、家族のくらしの「もしも」に幅広く安心を
月々 850円～

2. 共創の背景と今後の展開

東北6県および新潟県では、20～30代を中心に他地域への人口流出が続いており、定住促進等が社会課題となっています。また、20～30代は、進学、就職や結婚などのライフイベントの都度、その時々最適な“住まい”のニーズがありますが、敷金、礼金、火災保険料や引越し費用などの“住まい”等に係るさまざまな初期費用により、住み替えがしづらいついた課題があります。

このような背景を踏まえ、東北・新潟地域の未来を担う20～30代にとって、『もっとくらしやすい、ずっと住み続けたい東北・新潟』のために、東北電力フロンティア、損保ジャパンおよびMysuranceが共創の検討を進め、このたび、家族のくらしの「もしも」への幅広い補償や保険料の月額払いなどの特徴を持つ「東北電力フロンティア くらしのシンプル保険（賃貸タイプ）」の提供に至りました。

東北電力フロンティア、損保ジャパンおよびMysuranceでは、『もっとくらしやすい、ずっと住み続けたい東北・新潟』を実現するために、くらしに必要な“住まい”等に係るさまざまな初期費用を抑えたサブスクリプション型サービスの共創に向けて、今後も検討を進めてまいります。